

2022年4月21日(木曜日)の毎日新聞に「ウクライナ避難民への支援」について掲載されました!

那須塩原の製造販売会社



①パンの缶詰を主として笑顔を見せるウクライナからの避難民ら。日本国際航機対価機構提供
②ウクライナ支援をする「パン・アキモト」の専務、秋元信彦さん(42)。那須塩原市で



③同社は2004年に、餅をきっかけに、備蓄してきたスマートラ島沖地、用に購入されたパンの

「日本人の優しさをパンの缶詰に託したい」。ロシアによるウクライナ侵攻が続くなか、那須塩原市のパン製造販売「パン・アキモト」は3月から、隣国のポーランドに流入した避難民に備蓄用のパンの缶詰を届ける活動を始めた。ふわふわの食感と程良い甘さが現地でも好評で、追加支援の要望があった。ただ、原油高などの影響で輸送費がかさむことが判明。新たに支援協力を金を探している。

【樋田玲奈】



優しさ託したパン缶届け

避難民支援 現地で好評

缶詰を賞味期限の半年前に回収し、船越に苦しむ避難民に届ける取り組みを開始。今回は秋元信彦専務(42)らが、多くのウクライナ人がポーランドに避難していることを報道で知り、協力する一般財団法人「日本国際航機対価機構」(大阪府)に支援を申し出た。機構はアフリカやアジアなどで、貧困に苦しむ人たちに支援している。ロシアがウクライナに侵攻してから約1カ月後の3月22日、職員の近藤高史さん(61)ら3人は避難民支援のため、ポーランドに入国した。

近藤さんによると、ウクライナとの国境近くのプシエミシルの避難所では、国境を越えたいばかりの1000人以上が身を寄せていた。また、北上した地方都市リウリンの避難所には家族別数人の母子らがいち。ある母親は「夫は母国に残って戦っている。毎日連絡を取っているが、1

日でも連絡が途絶えることがつれい」と人気が高まっている。同社はホームページやフェイスブックで寄付を呼びかけた。秋元専務は「ウクライナは東欧の国で、6月30日まで。振込先は、足利銀行黒磯支店。口座名義は、西田事務所・普通預金25768867(口座名義は、株式会社「パン・アキモト」)。問い合わせは同社(0287・65・3351)。

でも連絡が途絶えることがつれい」と人気が高まっている。同社はホームページやフェイスブックで寄付を呼びかけた。秋元専務は「ウクライナは東欧の国で、6月30日まで。振込先は、足利銀行黒磯支店。口座名義は、西田事務所・普通預金25768867(口座名義は、株式会社「パン・アキモト」)。問い合わせは同社(0287・65・3351)。

日でも連絡が途絶えることがつれい」と人気が高まっている。同社はホームページやフェイスブックで寄付を呼びかけた。秋元専務は「ウクライナは東欧の国で、6月30日まで。振込先は、足利銀行黒磯支店。口座名義は、西田事務所・普通預金25768867(口座名義は、株式会社「パン・アキモト」)。問い合わせは同社(0287・65・3351)。